

家庭や地域との連携による食育の推進

千葉県船橋市 さくら保育園・みそら保育園・プレスクール・ベル

主任 大倉・山崎・吉川

保育園の概要

さくら保育園	定員 120名	職員総数 34名	設立年月日 20年4月1日
みそら保育園	定員 90名	職員総数 29名	設立年月日 20年4月1日
プレスクール・ベル	定員 80名	職員総数 14名	設立年月日 19年10月1日

設置市概要

人口 62万人 保育所数 27か所（公立） 63か所（私立） 合計 90か所

1. はじめに

船橋市は、千葉県の北西部に位置し、都心や成田空港から近いばかりでなく、京葉港や豊かな交通網を併せ持つなど、非常に恵まれた立地条件を備えたまちです。

人口約 62万人、政令指定都市を除くと全国で1番人口が多い市となります。

市内に 90園ほどある保育園の中で、そのうち私立保育園は、63か所あります。

私立保育園の中で、比較的近い場所に位置し、同じ地域である3園が連携し、研究を進めてきました。

2. 各園での取り組み

* さくら保育園 『お米作り』

- ・日本の主食『お米(ごはん)』は一番身近な食材ですが、都心に近く、交通のアクセスがよい住宅街という立地で生活している子どもたちは田んぼを知りません。“お米マイスター”の地元のお米屋さんに教えていただきながら、お米を育て収穫し食べる体験を通して得たものを検証しました。

* みそら保育園 『親子クッキング』

- ・保育の中で子どもたちが体験する“クッキング保育”は、普段自分たちが食べているものがどんな素材なのか、どんな工程で出来上がるのか知ることができます。慎重になる場面や友達と協力する場面を経て出来上がった料理を食べる時、達成感も一緒に味わいます。

そんな体験を家族と行うことで、さらに食べることの楽しさ・嬉しさが増すのではないかと、そして、日頃忙しい保護者にも楽しんでもらいながら食の大切さを伝える機会にしたいと親子クッキングを企画しました。

*プレスクール・ベル『日々の保育の中で』

- ・嗜好調査の結果をもとに、子ども達の現況について把握し考察しました。起床・夕食・就寝時間についての回答をふまえて、園での子どもの姿と結びつけるなど、必要な情報を保育園と家庭とで共有していくことが必要であると感じました。また行事やイベントだけが食育ではなく、日々の保育の中で実践していることを食育と捉え、プレスクール・ベルで行っている食育を考察しました。

2. まとめと今後の課題

今回は3園合同発表です。同じ立地条件下にあるそれぞれの園の食育の取り組みをしていく中で、家庭との連携が欠かせないことを再確認しました。子ども達が食への興味・関心が高まることで、その姿に保護者が刺激を受け家庭での食を見直すきっかけになる、また、保育園の取り組みの様子を家庭にできるだけたくさん伝えていくことで食の大切さを理解してもらえる、など連携の形は様々あることがわかりました。

地域との連携については、“食育を通して”というのと、一歩踏み込まないと実現しないので難しさを感じます。食育とは、食への関心や人とのコミュニケーションなどの他に、まだまだ色々な可能性があり、子どもたちが成長する時大きな影響を与えるものだと実感しました。